

国際会議成果報告書

(公財)スガウエザリング技術振興財団 国際会議助成事業

令和6年度国際会議助成（第43回）

1. 国際会議名 Advances in Corrosion Protection by Organic Coatings 2024 (ACPOC 2024)
2. 申請者所属・氏名 東京理科大学創域理工学部先端化学科・近藤 剛史
3. 開催期間 令和6年9月16日から令和6年9月19日まで
4. 国際会議成果の概要

（和文）Advances in Corrosion Protection by Organic Coatings 2024 (ACPOC 2024) は、2024年9月16日（月）～19日（木）の4日間にわたり、東京理科大学野田キャンパスセミナーハウスにて開催された。本国際会議では、有機塗膜による防食技術に関して、国内外の研究者・技術者による口頭講演のほか、若手研究者・技術者を中心としたポスターセッションを実施し、研究成果発表および議論を行った。有機塗膜による防食技術に特化した特色のある会議であり、防食メカニズム、塗膜劣化解析、ウエザリング技術、表面処理といった様々な観点からの発表・議論が活発になされた。

ACPOC 2024 では、口頭講演 27 件とポスター発表 8 件が行われた。口頭講演はセミナーハウス講堂の1会場のみで行われ、参加者全員が全ての講演を聴講できるようにした。口頭発表のうち、約半数の13件は海外からの参加者によるものであり、また9件が国内企業の研究者によるものであった。当初のねらい通り、本国際会議において海外研究者と企業の研究者・技術者との学術的な交流の場を形成することができた。口頭発表会場、ポスター発表会場ともに活発な議論が行われ、盛況であった。会期中のコーヒープレイクや昼食はセミナーハウス食堂を会場とし、この場でも参加者同士が活発に議論する姿が見受けられた。海外からは当該分野で実績のある著名な研究者だけでなく、次の世代を担う若手研究者も参加しており、これらの海外研究者と人的交流を持てたことは国内の参加者にとって非常に有益であった。

9月18日の午後には、エクスカーショんと懇親会を実施した。エクスカーションでは浅草を観光し、特に海外からの参加者に対し、日本の文化に触れてもらうよい機会となった。

また、本分野の主要な国際学術誌である Progress in Organic Coatings 誌にて ACPOC 2024 の特集号の発刊が企画されている。本会議を通じた学術的成果が関連分野のさらなる発展に資することを期待する。

（英文）Advances in Corrosion Protection by Organic Coatings 2024 (ACPOC 2024) was held from September 16th to 19th, 2024 at the Seminar House on the Noda Campus of Tokyo University of Science. At the conference, oral and poster sessions on the corrosion protection technology using organic coatings were held. We had 27 oral presentations with 13 presentations by participants from overseas and 9 presentations by researchers from domestic companies. Throughout the conference, not only were there lively discussions on the relevant fields, but there were in-depth personal exchanges through the excursion and banquet.

(公財)スガウエザリング技術振興財団 研究助成事業